

。○。○。○。

下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2018. 3. 5

下水道機構の『新技術情報』 第321号

(公財) 日本下水道新技術機構 <https://www.jiwet.or.jp/>

。○。○。○。

あつという間に3月！弥生の語源・由来を調べてみました。弥生(いやおい)が変化したものとなれ、弥(いや)は「いよいよ」「ますます」。生(おい)は「生い茂る=草木が芽吹くこと」を意味し、草木がだんだん芽吹く月であることから弥生となったとのこと。昨日の暖かさというか暑さで新芽もびっくりしていることでしょうか(笑)

それでは機構メールマガジン『新技術情報』第321号をお届けします。

業務に、Tea Break にどうぞご活用ください。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

・【再掲】3/8(木)開催の技術サロンの参加者を募集しています！

■機構の動き

・今週は3/8(木)に技術サロンを、3/9(金)にH29年度建設技術審査証明事業(下水道技術) 交付式を開催します

■Tea Break

・いちご狩り (総務部 Y.N. さんからの投稿です)

■まる子のゆいまーる

・2/2(金)に開催しました新技術現場研修会の様子をお届けします！

■国からの情報

・3/2付下水道ホットインフォメーション

。○。○。

インフォメーション (最新の話です)

。○。○。

●【再掲】3/8(木)開催の技術サロンの参加者を募集しています！

ゲストに気象庁東京管区气象台 気象防災部防災調査課 調査官 大矢 徹 氏をお迎えし、「気象災害から身を守るには」をテーマにご講演いただきます。

皆様のご参加お待ちしております！

※参加お申し込みはこちらから

→ <https://www.jiwet.or.jp/trainings/tech-salon/salon-form>

。○。

機構の動き （機構の行事予定です）

。○。

●行 事：第 368 回技術サロン

日 時：平成 30 年 3 月 8 日(木) 16:00~17:00

場 所：機構 8 階 中会議室

講演者：気象庁東京管区气象台 気象防災部防砂調査課 調査官 大矢 徹 氏

テーマ：「気象災害から身を守るには」

※参加お申し込みはこちらから

→ <https://www.jiwet.or.jp/trainings/tech-salon/salon-form>

●行 事：平成 29 年度建設技術審査証明事業（下水道技術）交付式

日 時：平成 30 年 3 月 9 日(金) 13:30~15:55

第 1 部 13:30~14:25、第 2 部 14:40~15:55

場 所：機構 8 階 中会議室

。○。

Tea Break （機構職員の感じるまま）

。○。

●いちご狩り （総務部 Y.N. さんからの投稿です）

先日、いちご狩りに行ってきました。

家族皆がいちご好きなものもあり、毎年行っています。

上手ないちごの取り方は、赤くて大きいいちごを、中指とひと差し指で茎を軽く挟みながら、親指で軽く押さえて、そのままスナップをきかせて取る。（強く引っ張って狩ろうとすると、茎が途中からちぎれてしまい、そのあと、実がつかなくなってしまう恐れがあるそうです。）

いちご狩りでは、数種類の食べ比べが出来るのが楽しみです。今回は「紅ほっぺ、章姫（あきひめ）、かおり野」の3種類でした。（私は、紅ほっぺが好みでした。）娘のお世話を主人にまかせ、思う存分食べ楽しむことが出来ました。そんな娘も、高い場所へ頑張って手を伸ばし取り、美味しそうに食べていました。（白くて小さいいちごを思いきり引っ張り取ってしまうこともありました・・）

今度いちご狩りへ行くのは来年ですが、残りのいちごシーズン家でも堪能したいと思います。

。○。

まる子のゆいまーる （皆様との交流の場です）

。○。

●2/2(金)に開催しました新技術現場研修会の様子をお届けします！

→ <https://www.jiwet.or.jp/publicity/yuimaru/2018-3-5>

!(^^)!皆さまからの情報提供をお待ちしております(^^♪

提供はこちらまで→ jiwet@jiwet.or.jp

※テキストは原則 400 字以内。写真等は A 4 版にして原則 2 ページ以内。

なお、お寄せいただいた情報はそのまま掲載することを基本としますが、
掲載の可否は機構にて判断させていただきます。

↓コチラからは、国からの下水道ホットインフォメーションを掲載しています。

=====

下水道ホットインフォメーション（2018.3.2 国からの最新情報です）

送信元：国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部下水道事業課企画専門官 堂蘭洋昭

=====

平昌オリンピックも終わりました。日本は冬季五輪過去最高のメダルを獲得したとのことで、成果の大きな大会だったのではないかと思います。いろんな競技がありましたが、皆さんはどれが印象に残りましたか。私はカーリングが最も印象に残りました。これまでほとんど見ることのなかった競技ですが、何試合か観る中で基本的なルールや、スキップ、ドロショットなどの用語も少し理解できるようになりました。そして何よりも日本女子の活躍、最後の銅メダルの瞬間などは大きな感動をもらいました。やっぱりスポーツっていいなあ。2年後の東京オリンピックが益々楽しみになりました。

★★★★★ 今週のヘッドライン ☆☆☆☆☆

- 平成 30 年度先導的官民連携支援事業（第 1 次）の公募開始について
(国土交通省総合政策局官民連携政策課)
- 官民連携による地域活性化のための基盤整備推進支援事業（第 2 回）の公募開始
(国土交通省国土政策局広域地方政策課)
- バイオガスから CO2 を分離・回収・活用する技術のガイドライン化
～CO2 を使った微細藻類の培養～ (国総研)
- ベガルタ仙台のデザインマンホールを設置しました

○ 平成 30 年度先導的官民連携支援事業（第 1 次）の公募開始について

(国土交通省総合政策局官民連携政策課)

【目的】

先導的な官民連携事業を実施しようとする地方公共団体等に対し、
下記（イ）又は（ロ）に係る業務に要する調査委託費を助成することにより、
官民連携事業の案件形成を促進することを目的とします。

（イ）事業手法検討支援型：施設の種類、事業規模、事業類型、事業方式等の面で先導的な官民連携事業の導入や実施に向けた検討のための調査

（ロ）情報整備支援型：先導的な官民連携事業の導入判断等に必要情報の整備等のための調査

【補助対象経費・補助率・補助限度額】

調査費用のうち、コンサルタント等の専門家に調査や検討を依頼する経費（委託費）を、予算の範囲内で、全額国費による定額補助として助成します。補助金 1 件当たりの上限は 2,000 万円です。

【応募受付期間】

平成 30 年 3 月 1 日（木）～平成 30 年 4 月 13 日（金） 14:00 必着

先導的官民連携支援事業の概要はこちら

<http://www.mlit.go.jp/common/001181006.pdf>

その他、地域プラットフォーム形成支援や官民連携モデル形成支援についてもモデル都市を募集開始しましたので、以下国土交通省ホームページをご覧ください。

平成 30 年度 PPP/PFI 推進のための案件募集についての詳細はこちら↓↓↓

http://www.mlit.go.jp/report/press/sogo21_hh_000076.html

○官民連携による地域活性化のための基盤整備推進支援事業（第 2 回）の公募開始

(国土交通省国土政策局広域地方政策課)

【事業内容】

地方公共団体が民間の事業活動等と一体的に行うことにより、優れた効果の発現や効率性が期待できる国土交通省所管の基盤整備事業※3（道路、海岸、河川、港湾、都市公園、鉄道、空港等の公共土木施設）の事業化に向けた検討経費を支援対象とします。

具体的には、①基盤整備にかかる課題の整理や機能検討、概略設計など施設整備の内容に関する調査、②PPP/PFI の導入可能性検討など①で調査した施設の整備・運営手法

に関する調査が事業内容です。

なお、PPP/PFI 導入検討の実施適否の確認は、②を実施しない案件も含めて全ての応募案件について行うものとします。

①施設整備の内容に関する調査

(例) 基礎データ収集、需要予測、概略設計、整備効果検討等

②①で調査した施設の整備・運営手法に関する調査

(例) PPP/PFI 手法の選定、官民の業務分担、VFM 算定等

【経費の内容】

調査委託費、測量設計費※4

(調査に伴う事務費(旅費、人件費、印刷製本費等)は対象外)

【配分先・補助率】

配分先：地方公共団体(都道府県、特別区、市町村(一部事務組合及び広域連合を含む))

補助率：1/2(採択にあたって金額に下限値及び上限値はありません)

◇提出期限

平成30年4月13日(金) 17:00

◇提出、問い合わせ先

国土交通省 国土政策局 広域地方政策課 調整室

専門調査官 田村 tamura-m2rw@mlit.go.jp

主査 鈴木 suzuki-k2cr@mlit.go.jp

井上 inoue-r25g@mlit.go.jp

◇留意事項

- ・資料の提出にあたっては、本省への提出前に地方整備局等の確認を受けて下さい。
(遅くとも、4月2日(月)までに地方整備局等への連絡をお願いします。)
- ・制度全般に関する質問や提出資料の記入方法等については、
国土政策局広域地方政策課調整室まで直接お問い合わせ下さい。

応募に関する詳細はこちら↓↓↓

http://www.mlit.go.jp/report/press/kokudoseisaku09_hh_000079.html

○バイオガスからCO₂を分離・回収・活用する技術のガイドライン化

～CO₂を使った微細藻類の培養～ (国総研)

国総研は、平成27年度より佐賀市で実証を進めてきた「バイオガス中のCO₂分離・回収と微細藻類培養への利用技術」の導入ガイドライン(案)を、平成30年2月に策定しました。本技術は、バイオガス(消化ガス)から分離・回収した高濃度のCO₂、そして下水汚泥を脱水した際に排出される脱水分離液に含まれる窒素・りんを微細藻類(ミ

ドリムシ) 培養に活用する技術です。「CO2を使う」という新たな発想を取り入れることで下水道資源の可能性を拡大し、有効活用の進化を目指します。

実証の結果、「CO2分離・回収技術」において、高濃度(99%)のCO2を生成し、「微細藻類培養技術」において、下水道資源から微細藻類を培養できることが確認できました。また、「汚泥可溶化技術」を付帯することで、バイオガス量が増加できることも確認できました。下水道資源の更なる有効活用を期待できる技術として普及促進を図ってまいります。

<http://www.nilim.go.jp/lab/ecg/bdash/bdash.htm>

○ ベガルタ仙台のデザインマンホールを設置しました(仙台デザインマンホールプロジェクト第5弾)

仙台市では、仙台デザインマンホールプロジェクトの第5弾として、仙台市、ベガルタ仙台、ベガルタ仙台ホームタウン協議会の連携により、地下鉄南北線泉中央駅からベガルタ仙台のホームスタジアムであるユアテックスタジアム仙台までの歩道部にベガルタ仙台デザインのデザインマンホールを、2018J1リーグホーム開幕戦に合わせて、15箇所設置しました。

仙台デザインマンホールプロジェクトについては、以下をご確認下さい。

<http://www.city.sendai.jp/keekikaku-shomu/kurashi/machi/lifeline/gesuido/gesuido/koho/design.html>
<<http://www.city.sendai.jp/keekikaku-shomu/kurashi/machi/lifeline/gesuido/gesuido/koho/design.html>>

また、設置日から平成30年8月末(予定)の期間において、マンホールを撮って集めることができるアプリ「Manhoo!(マンホー)」を活用した地域活性化の可能性調査として、ベガルタ仙台デザインマンホールを用いた実証試験を行っています。

こちらの取組みについては、以下をご確認下さい。

<http://timecapsuleinc.org/manhoo/> <<http://timecapsuleinc.org/manhoo/>>

=====

【参考情報】

◆天竜川大規模豪雨想定 県が浸水区域図作成へ (2/27 長野日報 web)

<http://www.nagano-np.co.jp/articles/28685>

◆大牟田市のマンホールにジャー坊のふた登場 下水道8カ所に設置へ [福岡県]

(2/28 西日本新聞)

https://www.nishinippon.co.jp/nnp/f_chikugo/article/397579/

◆豪雨対策で河川観測強化 県内340地点に最新水位計 (2/28 福島民報)

<https://www.minpo.jp/news/detail/2018022849558>

◆日光連山や中禅寺湖 マンホールのふたに文芸芸大生デザイン (3/1 東京新聞)

<http://www.tokyo-np.co.jp/article/tochigi/list/201803/CK2018030102000168.html>

◆北海道) 下水熱で融雪 効果は上々 北科大で産官学実験 (3/1 朝日新聞)

発行元：公益財団法人 日本下水道新技術機構 企画部

〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル 7F

TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<https://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから → jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから

→ jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信停止はこちらから

→ <https://www.jiwet.or.jp/member-mag-unsubscribe>

○ニューズレターはこちらから

→ <https://www.jiwet.or.jp/newsletter/20170426/index.html>